

第44回全国障害者技能競技大会
<109>ワード・プロセッサ 当日課題

和文競技 「幸せを招く常滑」の作成（制限時間80分）

以下の指示に従い、別紙の文書を作成し、提出しなさい。

- 英数字はすべて半角で入力する。
- 指示以外の設定内容については、作成例（別紙）を参照し、最も適当なものを選択する。
- 改行位置や文字幅など、作成例との細かい差異は問わない。
- 図形やテキストボックスの行間については、作成例を参考に、適宜調整をする。
- 競技終了後に、作品を所定の用紙にプリントアウトする。

◆文書の設定

1. 新規文書を作成し、ファイルを保存する。

- 保存場所はデスクトップの「ワード・プロセッサ」フォルダとする。
- ファイル名は「選手番号 幸せを招く常滑」とする。
※選手番号とファイル名の間には全角1文字分のスペースを入れる。

2. 用紙の設定をする。

- 印刷面の余白は上25mm 下左右20mm程度にする。
- ヘッダーの右側（上から10mmの位置）に「選手番号 選手名」を入力する。
※選手番号と選手名の間には、全角1文字分のスペースを入れる。
- フッターの中央（下から10mmの位置）にページ番号を設定する。
※ページ番号のフォント：白、10.5pt、ポップ体系
※作成例を参考に、楕円を5つ挿入して、肉球を作成する。
- ページ設定で、行数は「40行」を指定する。
- 段落の設定で、「1ページの行数を指定時に文字を行グリッド線に合わせる」をオフにする。

段落

インデントと行間隔 改ページと改行 体裁

全般

配置(G): 両端揃え

アウトラインレベル(O): 本文 既定で折りたたみ(E)

インデント

左(L): 0字 最初の行(S): 幅(Y):

右(R): 0字 (なし)

見開きページのインデント幅を設定する(M)

1行の文字数を指定時に右のインデント幅を自動調整する(D)

間隔

段落前(B): 0行 行間(N): 1行 間隔(A):

段落後(E): 0行

同じスタイルの場合は段落間にスペースを追加しない(C)

1ページの行数を指定時に文字を行グリッド線に合わせる(W)

◆1 ページ目の設定

3. タイトル「幸せを招く常滑」をワードアートで作成する。
ワードアートのスタイルは、作成例を参考に、以下の設定を行う。
 - フォント：ポップ体系、48pt、オレンジ系
 - 文字の輪郭：オレンジ系
 - 効果：影 外側 オフセット：左下、影の色：灰色系、変形：上ワープ
4. タイトルの左右に「ワード・プロセッサ和文素材」フォルダの中から「招き猫.png」、「急須.png」、「湯呑.png」を挿入し、作成例を参考に、位置とサイズを調整する。
5. 「常滑は、」～「出逢えます。」までを入力し、以下の設定を行う。
 - フォント：明朝体系、10.5pt
 - 段落：左インデント1字、右インデント1字、字下げ1字、行間1行
6. 「とこにゃんは福を呼ぶ？」を入力し、作成例を参考に以下の設定を行う。
 - 【タイトル部分】
 - フォント：ポップ体系、16pt、白、太字、均等割り付け（15文字）
 - 段落：中央揃え、段落後の間隔：1行、背景の色：茶色系
網かけの種類：40%、オレンジ系
 - 【図部分】
 - 図形：楕円 ※5つの楕円をグループ化する
 - 図形の色：オレンジ系
 - 文字列の折り返し：内部
 - 図形内のフォント：ポップ体系、16pt 段落：行間 固定値、16pt
7. 「日本独特の」～「取り上げられています。」までを入力し、以下の設定を行う。
 - フォント：明朝体系、10.5pt
 - 段落：字下げ1字、行間1行
 - ※「とこにゃん」部分のみ フォント：ポップ体系、14pt、傍点
塗りつぶし：オレンジ、輪郭：オレンジ
8. 「ワード・プロセッサ和文素材」フォルダの中から「とこにゃん.jpg」を挿入し、作成例を参考に、位置とサイズを調整する。
 - 図形に合わせてトリミング 四角形：角を丸くする ■文字の折り返し：四角形
9. 「常滑焼とは」は、作成例を参考に「6.」と同様の設定を行う。
10. 「常滑焼は」～「分類されています。」までを入力し、「7.」と同様の設定を行う。
11. 作成例を参考に、「平安時代～室町時代」部分に割注（括弧で囲む）を設定する。

12. 作成例を参考に、「常滑焼（とこなめやき）」「妬器（せっき）」「六古窯（ろっこよう）」「釉薬（ゆうやく）」にルビを設定する。

13. 作成例を参考に、画像と図形を挿入する。

■画像：「ワード・プロセッサ¥和文素材」フォルダの中から「六古窯地図.png」を使用

【日本六古窯】部分

■図形：スクロール：横

■図形の色： オレンジ系～白のグラデーション 枠線の色：茶色系、0.5pt

■図形内のフォント：ポップ体系、14pt、茶色系 段落：行間 固定値、14pt

【常滑】部分

■図形：吹き出し：四角形

■図形の色：茶色系 枠線の色：なし

■図形内のフォント：ポップ体系、12pt、白、太字 段落：行間 固定値、12pt

その他、地名部分

■図形：吹き出し：四角形（5つ）

■図形の色：白 枠線の色：緑系、1.5pt

■図形内のフォント：ゴシック体系、9pt、黒、太字 段落：行間 固定値、9pt

14. 表を作成し、「種別」～「吸水性なし」までのデータを入力する。

作成例を参考に、以下の設定を行う。

■罫線の種類：外枠 3pt 三重線（オレンジ系）、内側 1pt 実線（オレンジ系）

■1行目：セルの色 薄いオレンジ系、フォント ゴシック体系、11pt、黒、中央揃え、太字

■4行目：セルの色 濃いオレンジ系、フォント ゴシック体系、11pt、白、中央揃え、太字

■上記以外：セルの色 白、フォント ゴシック体系、10.5pt、黒、中央揃え

15. 「ワード・プロセッサ¥和文素材」フォルダの中から「妬器.jpg」を挿入し、作成例を参考に、位置とサイズを調整する。

■図のスタイル：四角形、ぼかし ■文字の折り返し：前面

◆2 ページ目の設定

16. 「やきもの散歩道」は、作成例を参考に「6.」と同様の設定を行う。

17. 「ワード・プロセッサ¥和文素材」フォルダ内の「コース別散歩道.txt」を使用して、ファイルからテキストを挿入する。挿入したテキストは、以下の設定を行う。

■段落：「1 ページの行数を指定時に文字を行グリッド線に合わせる」をオフ

18. 「愛知県」～「ご利用ください。」に、以下の設定を行う。

■フォント：明朝体系、10.5pt

■段落：字下げ1字、行間1行

19. 「A コース」～「盛りだくさんです。」に、2 段組み（境界線を引く）を設定し、「B コース」から 2 段目になるよう段区切りを挿入する。
20. 「A コース」「B コース」に、以下の設定を行う。
 ■フォント：ポップ体系、12pt、「A コース」は青系、「B コース」は緑系
 ※「❖」部分については、任意の記号を挿入すること。
21. 「1.6km で～」 「4km で～」 に、以下の設定を行う。
 ■段落：行間 固定値：12pt
22. 作成例を参考に、「A コース」「B コース」に SmartArt を挿入する。
 ■SmartArt グラフィックの種類：縦方向画像リスト
 ■フォント：ゴシック体系、11pt、太字
 ■画像：「ワード・プロセッサ¥和文素材」フォルダの中から「陶磁器会館.jpg」（2 か所）
 「煙突.jpg」「廻船問屋.jpg」「土管坂.jpg」「登窯広場展示工房館.jpg」「登窯.jpg」
 「INAX.jpg」「陶の森資料館.jpg」「陶の森研究所.jpg」を使用
23. 作成例を参考に、「A コース」「B コース」に図形を挿入する。
 ■図形：・START・GOAL 部分：濃い灰色系
 ・矢印部分：薄い灰色系、幅 10pt
 ■フォント：ポップ体系、9pt、黄色、太字 ■段落：行間 固定値、9pt
24. 表を作成し、作成例を参考に、以下の設定を行う。

●外側の表

- 罫線の種類：外枠 3pt 三重線（オレンジ系）、内側 1pt 実線（オレンジ系）
 ■1 列目：セルの色 薄いオレンジ系、フォント ポップ体系、10.5pt、太字、中央揃え
 ■2 列 1 行目：フォント 明朝体系、10.5pt、黒
 ■2 列 2 行目：フォント ポップ体系、10.5pt、黒、下線、中央揃え ※末尾行は下線無し、右揃え
 「ワード・プロセッサ¥和文素材」フォルダの中から「猫三毛.png」を使用

●内側の表

- 罫線の種類：0.5pt 実線（黒）
 ■1 列目：セルの色 灰色系、フォント ゴシック体系、10.5pt、白、太字
 均等割り付け、（上下）中央揃え
 ■2 列目：フォント 明朝体系、10pt、黒
 段落：行間 固定値、12pt、箇条書き、ぶら下げインデントの幅：4mm

電車でお越し のお客様	名鉄「常滑駅」から A・B 両コースの出发点「陶磁器会館」は、徒歩約 5 分で到着 します。						
お車でのお越し のお客様	<p style="text-align: center;">やきもの散歩道周辺の主な駐車場のご案内</p> <table border="1"> <tr> <td>やきもの散歩道駐車場</td> <td>◆愛知県常滑市栄町 XXX ◆乗用車約 45 台 ◆8 時間/1 区画 300 円</td> </tr> <tr> <td>陶磁器会館 駐車場</td> <td>◆愛知県常滑市栄町 XXXXX ◆乗用車約 40 台 ◆全日/普通自動車 500 円 バイク・原付 300 円</td> </tr> <tr> <td>木橋南バス専用駐車場</td> <td>◆愛知県常滑市陶郷町 XX ◆7 台（バス専用）※有料/要予約 ◆お問合せ先（陶磁器会館）TEL:0569-XX-XXXX</td> </tr> </table> <p style="text-align: right;">駐車場の地図は次ページをご参照ください</p>	やきもの散歩道駐車場	◆愛知県常滑市栄町 XXX ◆乗用車約 45 台 ◆8 時間/1 区画 300 円	陶磁器会館 駐車場	◆愛知県常滑市栄町 XXXXX ◆乗用車約 40 台 ◆全日/普通自動車 500 円 バイク・原付 300 円	木橋南バス専用駐車場	◆愛知県常滑市陶郷町 XX ◆7 台（バス専用）※有料/要予約 ◆お問合せ先（陶磁器会館）TEL:0569-XX-XXXX
やきもの散歩道駐車場	◆愛知県常滑市栄町 XXX ◆乗用車約 45 台 ◆8 時間/1 区画 300 円						
陶磁器会館 駐車場	◆愛知県常滑市栄町 XXXXX ◆乗用車約 40 台 ◆全日/普通自動車 500 円 バイク・原付 300 円						
木橋南バス専用駐車場	◆愛知県常滑市陶郷町 XX ◆7 台（バス専用）※有料/要予約 ◆お問合せ先（陶磁器会館）TEL:0569-XX-XXXX						

◆3 ページ目の設定

25. 「マナーを守って楽しく散歩！」は、作成例を参考に「6.」と同様の設定を行う。
26. 作成例を参考に、「やきもの散歩道は」～「やめてください。」部分を挿入する。
- 図形：フレーム、楕円（4つ）、二等辺三角形（2つ）
 - 図形の色：フレーム部分 任意のテクスチャ
楕円（大2つ） 赤系、楕円（小2つ） 薄い赤系、二等辺三角形（2つ） 灰色系
 - フォント：ポップ体系、12pt
 - 段落：左インデント：4字
27. 作成例を参考に、描画キャンバスを使用して地図を作成する。
- 描画キャンパス：枠の色 黒
 - 図形：・道路部分：12pt、黄色系
その他については、完成例を参考に作成すること
 - 画像：「ワード・プロセッサ用和文素材」フォルダの中から「招き猫.png」を使用する

◆文書全体の調整

28. 指示に提示されていない事柄については、作成例と同様になるように編集する。
編集後は、上書き保存する。

第44回全国障害者技能競技大会
<109>ワード・プロセッサ 当日課題

英文競技 「EXPO2005」 Word ファイル、PDF ファイルの作成（制限時間 60 分）

以下の指示に従い、別紙の文書を作成し、提出しなさい。

- 以下の番号は、作成例（番号付き）の各セクションの○付番号と対応している。
- 指示以外の設定内容については、作成例（別紙）を参照し、最も適当なものを選択する。
- 改行位置や文字幅など、作成例との細かい差異は問わない。
- 競技終了後に、作品を所定の用紙にプリントアウトする。

◆文書の設定

1. 新規文書を作成し、「ワード・プロセッサ」フォルダに「選手番号 EXPO2005」という名前で保存する。
※選手番号とファイル名の間には半角 1 文字分のスペースを入れること。
2. 用紙サイズ：A4、マージン 25.4mm（1 インチ）、とじしろ 0 に設定する。
3. フッターに、作成例の通り、競技者名（ローマ字）、ページ番号、本日の日付を入力し、下からのフッター位置 15mm に設定する。
■フォント：Arial、サイズ：9
4. ページ罫線を引く。任意の絵柄、線の色：緑系
5. 「ワード・プロセッサ≠英文素材」フォルダ内の「symbol.png」を利用して、透かしを設定する。

◆1 ページ目の設定

6. ワードアート「EXPO 2005 AICHI JAPAN」を挿入する。
■フォント：Gill Sans MT、サイズ：28、太字、色：黄色系 ※「2005」部分のみ：灰色系
■効果：影（透視投影：左上）、変形：アーチ下向き
7. 「ワード・プロセッサ≠英文素材」フォルダ内の「MorizoKiccoro.png」を挿入する。
※作成例の通り、サイズを調整して配置すること。
8. 「Purpose of Holding the Exposition」を入力し、作成例の通り、設定する。
■フォント：Arial Black、サイズ：12、色：黒
■段落罫線：（左）緑系、線の太さ：6pt （上）灰色系、線の太さ：3pt
9. 本文「EXPO 2005 AICHI,」～「in December 2001.」部分を入力し、以下の通り設定する。
■フォント：Arial、サイズ：10.5
■段落：両端揃え、行間：1 行
※他の箇所についてもフォントの指示がない限り、上記の設定を適用すること。

10. 文頭にドロップキャップを設定する。
 - ドロップする行数：3
 - フォント：文字の色 白、太字、文字の輪郭の色 青系、輪郭の影の色 黒

11. 本文「"The aim of」～「current status of Japan.」部分を入力し、以下の通り設定する。
 - フォント：Arial、サイズ：10.5
 - 段落：両端揃え、段落前の間隔：0.5 行、行間：1 行

12. 段落番号「Project for～」～「to the future"」部分を入力し、以下の通り設定する。
 - フォント：Arial、サイズ：10.5
 - 段落番号：番号付き段落
 - 段落：両端揃え、左インデント：2 文字、行間：1 行
 - ※最初の行のみ 段落前の間隔：0.5 行

13. 長方形を挿入し、作成例の通り、設定する。
 - 図形の塗りつぶし：白、図形の枠線：灰色系、1pt、文字列の折り返し：四角形

14. 「ワード・プロセッサ¥英文素材」フォルダ内の「Japan.jpg」、「Aichi.png」を挿入する。
 - ※作成例の通り、サイズを調整して配置すること。

15. 図形とテキストボックスを挿入し、作成例の通り、設定する。
 - 円 図形の色：なし、枠線の色：オレンジ系、枠線の太さ：3pt
 - 直線（2 か所） 枠線の色：オレンジ系、枠線の太さ：3pt、点線（角）、線の先端：丸
 - 星（2 か所） 図形の色：赤系、枠線の色：白、枠線の太さ：0.5pt
 - テキストボックス Tahoma、サイズ：14、太字、光彩（白、サイズ：5pt、透明度：10%）
 - 色：（Aichi 部分） オレンジ系 （Seto、Nagakute 部分） 赤系

16. 「ワード・プロセッサ¥英文素材」フォルダ内の「flags.jpg」を挿入する。
 - ※作成例の通り、図のスタイルやサイズを調整して配置すること。

◆2 ページ目の設定

17. 「Outline of the Exposition」は、「8.」と同様の設定を行う。
18. 表を挿入し、作成例の通り、設定する。
■フォント：Arial、サイズ：10.5
■罫線：(外枠、横罫線) 青系、2.25pt (縦罫線) 青系、0.5pt、破線
19. 「125」に、脚注「Which are 121countries (including Japan) and 4 international organizations」を挿入する。
■脚注のフォント：Arial、サイズ：9
20. 「State of the number of visitors」は、「8.」と同様の設定を行う。
21. 「(in 185 days: from March 25 to September 25)」部分を入力し、以下の通り設定する。
■フォント：Arial、サイズ：9
■段落：右揃え、行間：1行
22. 箇条書き「Total number～」～「Smallest Number～」部分を入力し、以下の通り設定する。
■フォント：Arial、サイズ：10.5
■行頭文字：四角形、青系
■タブ設定：25字の位置に、小数点揃え リーダー (2) を設定し、該当箇所にタブを挿入する
23. 以下のデータシートを参考に、円グラフを作成する。

■グラフエリア

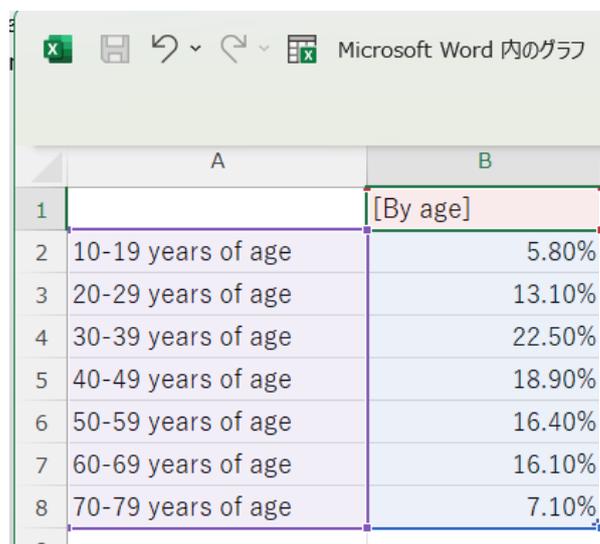
塗りつぶしなし、枠線なし

■タイトル

フォント：Segoe UI、サイズ：12
太字、斜体

■データラベル

塗りつぶしの色：白、枠線の色：青系
フォント：Segoe UI、サイズ：8



	A	B
1		[By age]
2	10-19 years of age	5.80%
3	20-29 years of age	13.10%
4	30-39 years of age	22.50%
5	40-49 years of age	18.90%
6	50-59 years of age	16.40%
7	60-69 years of age	16.10%
8	70-79 years of age	7.10%

24. 「Transit within the Site」は、「8.」と同様の設定を行う。
25. SmartArt「縦方向円形画像リスト」を挿入し、作成例の通り設定する。
■挿入テキスト：「ワード・プロセッサ¥英文素材」フォルダ内の「Transit.txt」
■フォント：(1行目) Tahoma、サイズ：9、太字 (2行目以降) Arial、サイズ：9
■挿入画像：「ワード・プロセッサ¥英文素材」フォルダ内の「IMTS.jpg」「bus.jpg」「tram.jpg」「gondola.jpg」

◆3 ページ目の設定

26. 「Theme: NATURE'S WISDOM」を入力し、「8.」と同様の設定を行う。
27. 「ワード・プロセッサ¥英文素材」フォルダ内の「Theme.txt」を使用して、テキストを挿入する。
28. 「To realize the」～「earth and mankind.」部分は、「9.」と同様の設定を行う。
29. 「Sub-themes:1 NATURE'S MATRIX」は以下の設定を参考に、表を使用して作成する。
 - フォント：Tahoma、サイズ：12、太字、色（1列目）白、（2列目）青系
 - セルの色：（1列目）青系、（2列目）白
 - 罫線：枠なし※「Sub-themes:2」「Sub-themes:3」も同様の設定を行う。

Sub-themes:1	NATURE'S MATRIX
--------------	-----------------

30. 本文「In order to」～「information science.」部分は以下の設定を行う。
 - フォント：Arial、サイズ：10.5
 - 段落：両端揃え、インデント（左）：1字、インデント（右）：1字、行間：固定値 14pt※「The direction is」～「throughout the world.」、「To make use」～「the 21st century.」も同様の設定を行う。
31. 「Examples of theme development >」部分（3か所）は以下の設定を行う。
 - 矢印（五方向）：グラデーション（灰色系）
 - 矢印（山形）（2か所）：白
 - フォント：Gill Sans MT、サイズ：10.5 （1行目のみ）太字 （2行目以降）箇条書き
32. 「ワード・プロセッサ¥英文素材」フォルダ内の「earth.jpg」、「creativity.jpg」、「environment.jpg」を挿入する。
 - ※作成例の通り、サイズを調整して配置すること。

◆文書全体の調整

33. 指示されていない部分についても、作成例と同様になるように編集し、上書き保存する。
34. 完成した文書を PDF 形式で保存する。
 - ファイル名：「選手番号 EXPO2005」